

「令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果の概要を報告します

スポーツ庁が実施した「令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、本市の結果の概要を報告いたします。本市児童生徒の健康・体力の現状を把握し、体力向上・健康の増進に向けた教育活動の改善に役立てていきます（なお、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止しています。）。

調査の概要 令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査（スポーツ庁）

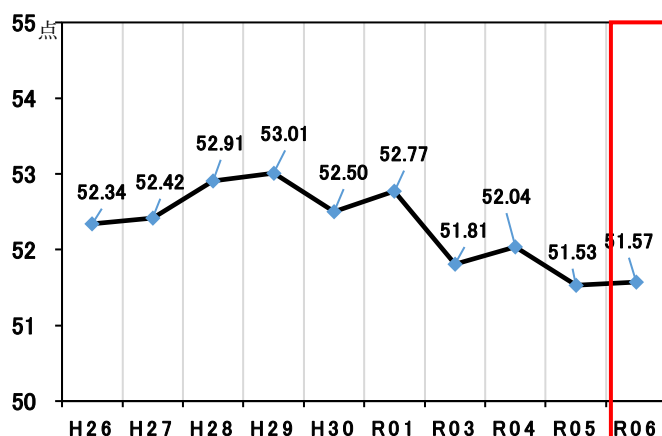
- 1 調査目的
 - スポーツ庁が全国的な子どもの体力の状況を把握・分析することにより、子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
 - 教育委員会が子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子どもの体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
 - 学校が児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、体力・健康等に関する指導などの改善に役立てる。
- 2 調査の対象
 - 国公立の小学校5年生及び中学校2年生を対象とした^{しっかい} 皆調査
 - ・全 国 小学生 約98万人、中学生 約87万人
 - ・川崎市 小学生 約1.2万人、中学生 約0.9万人
- 3 調査内容
 - 実技に関する調査
 - 【小学校テスト項目】握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、20mシャトルラン、50m走、立ち幅跳び、ソフトボール投げ
 - 【中学校テスト項目】握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、持久走（男子1500m 女子1000m）又は20mシャトルラン、50m走、立ち幅跳び、ハンドボール投げ
 - 質問紙調査（運動習慣、生活習慣等）
- 4 調査実施時期 令和6年4月～7月の間に各学校において実施

1 本市の体力の状況

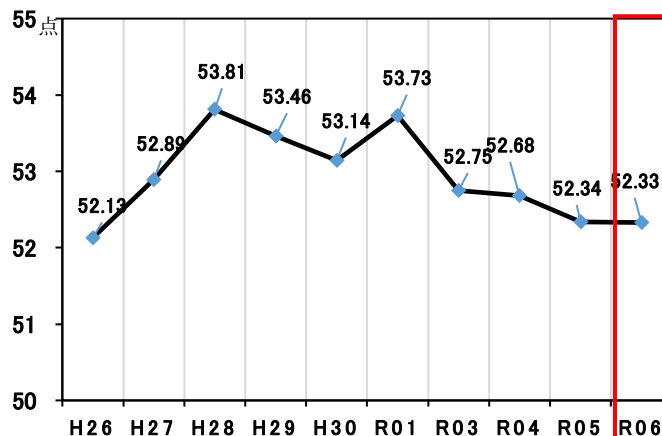
（1）体力合計点の経年推移

- ・本市の体力合計点の数値は、前回（令和5年度）の調査結果と比較して、小学校の男女では横ばい、中学校男女では上回る結果となり、中学校2年男子は過去10年間で最も良い結果となりました。

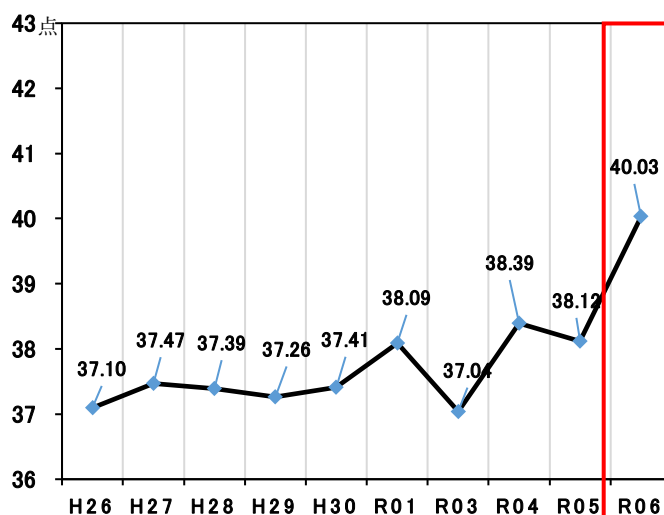
【図1-1】小学校5年生男子の経年推移



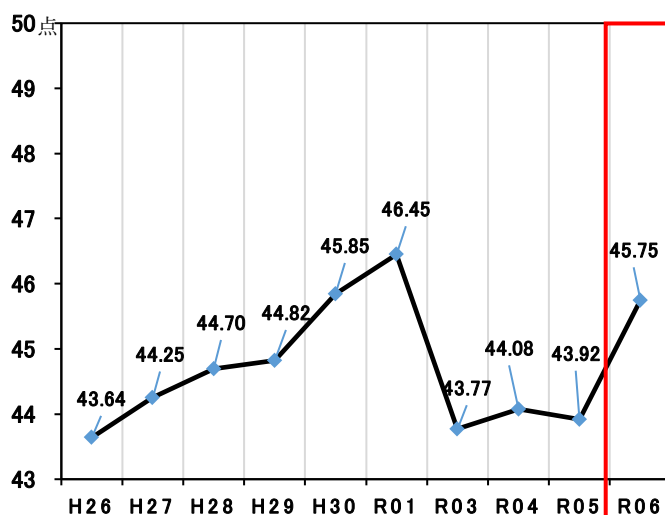
【図1-2】小学校5年生女子の経年推移



【図 1－3】中学校 2 年生男子の経年推移



【図 1－4】中学校 2 年生女子の経年推移



※体力合計点 実技に関する調査の各種目の測定値を種目別得点表（学校種で異なる）に当てはめ 10 段階で得点化し合計した数値

（2）種目ごとの平均値の比較

- ・小学校 5 年生男女では握力及び長座体前屈が、中学校 2 年生男子では上体起こし及び持久走が、中学校 2 年生女子では握力、上体起こし及び持久走が、それぞれ全国平均を上回っており、その他の種目はそれぞれの学年で全国平均を下回っています。
- ・本市の体力合計点を全国と比較すると、小・中学生ともに全国平均を下回っています。

【図 2】種目ごとの平均値の比較

		握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (点)	持久走 (秒)	20mシャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ボール投げ (m)	体力合計点 (点)
小学校 5 年男子	全国	16.02	19.19	33.79	40.67		46.90	9.50	150.46	20.74	52.54
	川崎市	16.32	18.86	35.85	37.89		42.31	9.51	147.97	19.61	51.57
小学校 5 年女子	全国	15.78	18.16	38.21	38.71		36.60	9.76	143.18	13.15	53.93
	川崎市	15.87	17.72	40.20	35.55		31.21	9.82	140.58	12.36	52.33
中学校 2 年男子	全国	28.91	25.82	44.32	51.49	411.68	78.65	7.99	197.16	20.49	41.69
	川崎	28.90	25.85	42.02	50.21	404.85	77.75	8.16	192.27	20.40	40.03
中学校 2 年女子	全国	23.14	21.47	46.44	45.67	309.90	50.48	8.96	166.22	12.32	47.22
	川崎市	23.22	21.69	45.10	44.68	304.71	49.81	9.03	161.03	12.04	45.75

2 運動習慣等の状況

（1）運動やスポーツすることは「好き・やや好き」と回答した割合

- ・運動やスポーツをすることが「好き・やや好き」と回答した本市の児童生徒の割合は、小学生男女と中学生男子は全国平均とほぼ同じですが、中学生女子は全国平均より低い傾向がみられます。

【図 3】運動やスポーツすることは「好き・やや好き」と回答した割合

	小学校 5 年生男子	小学校 5 年生女子	中学校 2 年生男子	中学校 2 年生女子
全国	93.3%	86.2%	90.3%	76.8%
川崎市	93.0%	85.8%	88.3%	71.0%

(2) 授業以外での運動やスポーツの1週間当たりの総運動時間

- ・本市の児童生徒の1週間当たりの総運動時間は、小学生では男女ともにやや下回りましたが、中学生では男女ともに全国平均を大きく上回っています。

【図4】授業以外での運動やスポーツの1週間当たりの総運動時間

	小学校5年生男子	小学校5年生女子	中学校2年生男子	中学校2年生女子
全国	548.7分	331.06分	736.78分	506.72分
川崎市	544.3分	322.86分	894.34分	642.13分

3 生活習慣等の状況

(1) 1日当たりの睡眠時間

- ・本市の児童生徒の1日当たりの睡眠時間は、小学生では男女ともに全国平均とほぼ同じですが、中学生では男女ともに全国平均よりやや短い傾向がみられます。

【図5】1日当たりの睡眠時間

		男子						女子					
		10時間以上	9時間以上 10時間未満	8時間以上 9時間未満	7時間以上 8時間未満	6時間以上 7時間未満	6時間未満	10時間以上	9時間以上 10時間未満	8時間以上 9時間未満	7時間以上 8時間未満	6時間以上 7時間未満	6時間未満
小学校	全国	10.9%	27.5%	30.8%	19.5%	8.0%	3.3%	10.3%	29.6%	31.7%	18.5%	7.6%	2.4%
	川崎市	11.3%	26.4%	31.2%	21.2%	7.2%	2.7%	10.1%	28.0%	31.4%	20.1%	8.0%	2.3%
中学校	全国	2.7%	8.1%	24.6%	36.4%	21.4%	6.9%	1.6%	5.9%	19.2%	34.4%	28.9%	10.0%
	川崎市	2.5%	7.0%	21.6%	39.2%	22.7%	7.1%	1.4%	4.7%	16.5%	36.8%	30.5%	10.1%

(2) 学習以外で平日1日当たりのTV、DVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコン等の画面の視聴時間(スクリーンタイム)

- ・本市の児童生徒の1日当たりの画面の視聴時間は、小学生では全国平均よりやや短く、中学生ではやや長い傾向がみられます。

【図6】学習以外で平日1日当たりのTVやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコン等の画面の視聴時間(スクリーンタイム)

		男子							女子						
		5時間以上	4時間以上 5時間未満	3時間以上 4時間未満	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	1時間未満	全く見ない	5時間以上	4時間以上 5時間未満	3時間以上 4時間未満	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	1時間未満	全く見ない
小学校	全国	18.5%	11.0%	14.6%	20.4%	22.0%	11.7%	1.8%	14.5%	10.4%	13.8%	19.6%	23.5%	16.1%	2.3%
	川崎市	18.7%	10.5%	13.6%	19.6%	22.3%	12.9%	2.4%	14.8%	10.9%	12.0%	18.0%	24.0%	17.6%	2.7%
中学校	全国	17.2%	11.8%	20.3%	26.6%	18.7%	4.7%	0.7%	16.0%	11.9%	20.5%	26.2%	19.2%	5.8%	0.5%
	川崎市	18.0%	12.2%	21.3%	27.0%	17.1%	3.8%	0.6%	15.0%	12.1%	22.3%	26.5%	18.1%	5.5%	0.4%

(3) 朝食を毎日食べると回答した割合

- ・朝食を毎日食べると回答した本市の児童生徒の割合は、小学生男女と中学生男子は全国平均とほぼ同じですが、中学生女子は全国平均より低い傾向がみられます。

【図7】 朝食を毎日食べると回答した割合

	小学校5年生男子	小学校5年生女子	中学校2年生男子	中学校2年生女子
全国	81.3%	79.5%	81.7%	74.5%
川崎市	81.3%	79.7%	80.0%	71.8%

4 調査結果から見える本市の現状と課題

- 本市の児童生徒の体力・運動能力は、前回（令和5年度）の調査結果と比較すると、全国平均を上回る種目が増え、小・中学校男女の全てで、体力合計点が全国平均値に近づきました。小学校では反復横跳び（敏しょう性）及び20mシャトルラン（全身持久力）が、中学校では男女とも立ち幅跳び（瞬発力）が、全国平均値との差があり、引き続き、各体力・運動能力を向上させる動きを普段の体育活動に積極的に取り入れる等の工夫が必要であると考えます。
- 運動やスポーツをすることが「好き・やや好き」と回答した割合が、全国平均より低くなっています。児童生徒の体力向上を図るため、運動の楽しさや喜びを味わうことのできる体育学習の工夫に加えて、生活の中に運動を取り入れ定着させるための取組を更に進めていくことが必要であると考えます。
- 生活習慣等の調査から、全国平均と比べると、中学生の睡眠時間が短く、スクリーンタイムが長くなっている傾向となっており、課題と考えます。

5 今後の取組について

- 児童生徒が、運動することの大切さや運動の楽しさを実感し、自分の生活スタイルの見直しなどの意識を高めるとともに、生涯に渡って豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を育成することができるよう、体育学習の充実をはじめ、普段の生活や日常生活の中で、運動に親しむ機会の確保、学校行事や部活動、家庭との連携など、様々な場面を通して、できることから運動に親しむ取組を推進します。

具体的な取組

- ・スポーツ庁から配布されるデータをもとに、専門家の指導を参考に、自校の調査結果の分析・考察を行うとともに、児童生徒が自分の体力をGIGA端末等の活用によって「見える化」し、児童生徒一人ひとりに適切な目標を持たせた上で、休み時間や体育・保健体育の学習等で体力の向上を図れるよう、各学校の体育授業等の工夫・改善を図ります。
- ・子どもたちにスポーツの楽しさや素晴らしさを感じてもらうため、川崎市をホームタウンとして活躍するかわさきスポーツパートナーや実業団チーム等が、小学校に出向き指導いただいている「ふれあいスポーツ教室」をはじめ、新たに小学校における体力向上の取組である「かわさきキラキラチャレンジ」のお手本動画の作成に協力いただくなど、引き続き、「スポーツのまちかわさき」の強みを生かした関係機関と連携・協力した取組を進めてまいります。
- ・児童生徒が、学校以外でも運動に親しむことができるよう、簡単に取り組める運動をGIGA端末を活用して紹介するとともに、家庭等にも情報発信します。

問合せ先

川崎市教育委員会事務局学校教育部健康教育課 末木
電話 044-200-3828